



舞踊でみんなに笑顔を

湯野舞踊同好会



昨年3月の備中町婦人ふれあい大会では息びつたりの「雅の舞」を披露。

地元・備中町をはじめとする市内各地の各種イベントで、演歌や歌謡曲にのせた艶やかな踊りやコミカルな寸劇を披露している「湯野舞踊同好会」の皆さん。遠くは新見市や福山市まで出向くこともあり、平均して月1回程度の公演を行っています。

もともとは婦人会活動の一環として始めたものですが、平成元年に独立した同好会となり、現在は7人で活動しています。

練習は毎週土曜日。主に湯野小学校体育館で、夏は午後8時、それ以外は午後7時半から約2時間、おしゃべりも交え楽しく練習しています。

通常の公演は、踊りと寸劇を30分ずつの1時間。踊りは毎回5、6曲を披露しますが、お客さんが

飽きないようにと毎年いくつかの新作にも取り組み、これまでに100曲近く踊ってきました。

踊りの指導、舞台用の小物づくり、着付け、舞台での「しゃべり」など、それぞれの持ち味を生かして役割を分担しています。踊りは舞踊ビデオで覚えられますが、舞台の構成はメンバーみんなで考え、「お客さんに喜んでもらえる舞台を」と練習を重ねます。

メンバーの一人、竹並光子さん(63)は「舞台に立った時のお客さんの笑顔や拍手が励みになっています。公演を通じて知り合いも増え、町で声をかけてもらうこともあり、うれしいですね」と話します。

舞台用のドーランを使った本格的なメイク、着物の着付けなど、準備には2時間近くかかるそうです。「わずか10分の出演でも、行き帰りや準備、片付けなどで、結局一日がかりになることも多いんですよ。でも家族の協力があつて、みんな続けることができました」と中迫貞子さん(67)。

また、代表の田村勝子さん(64)は「週一回、顔を合わせて話をしたり、踊ったりすることが、ストレス解消や頭のリハビリになっています。踊りはみんなの支え。長く続けていきたいです」と話します。

これから10月にかけて、各地の敬老会やふるさとまつり出演で、「湯野舞踊同好会」は大忙しです。



日本での1年間の留学生生活を終えて

吉備国際大学 短期交換留学生 陳 逸成さん(台湾)



吉備国際大学の初めての交換留学生として台湾から昨年9月に来日しました。

1年間の留学生生活が終わりました。今振り返ってここに来てよかったと思いました。

吉備国際大学で、西洋史、日本史、日本語、日本国憲法の授業を受けました。台湾の大学の専攻が憲法だったので、日本国憲法の授業が一番印象に残りました。台湾の憲法と比較研究することができました。最初に授業を受けた時は、授業の内容がわからず困りましたが、1年経った今、日本語の能力も向上し、授業の内容を理解できるようになりました。

大学も僕たち留学生のために、いろいろな催しを用意してくれました。たとえば大阪、京都の旅行です。いろいろな日本文化を見ました。清水寺、金閣寺、どちらも綺麗な場所でした。月見、紅葉狩りも経験しました。

この1年はいろいろなことがありました。辛いこと、楽しいこと、いやなこと、いいこと。すべてが思い出となっています。高粱に来てよかったと思います。

■問い合わせ 高粱学園入試広報室 (フリーダイヤル 0120-25-9944 / Eメール :koho@kiui.ac.jp)

編集後記

岐阜県多治見市や埼玉県熊谷市では8月16日に40・9度と、国内最高気温を74年ぶりに更新。高粱でも8月18日に観測史上最高の39・0度を記録するなど、今年の夏は本当に暑かったですね。

熊谷市は、夏の暑さを逆手に取り、貴重な地域資源として、「あついで!熊谷」まちづくり事業に取り組んでいるそうです。「あついで」は、気温の「暑い」から気持ちの「熱い」。暑さを楽しみながら、さまざまな市民の熱い活動で、地域を盛り上げていこう、というものです。

高粱では、この夏も「マンガ絵ぶたまつり」や

まちの伝言板

認知症研修会 10月14日(日)

川上総合学習センター 午後0時30分～午後5時



川上地域認知症研修会
実行委員長 森下昌昭さん(77)

取り組んでみましょう」と川上地域以外の人の参加も募っています。

研修会は次のとおりです。

【講演】ほけてたまるか! 21世紀の正しい老い方 (講師: 神奈川県湘南長寿園病院 院長 フレディ松川さん)

【演奏】井原吹奏楽団メルヘンウインドアンサンブル

【合唱】コールフロアレス

【認知症を題材とした劇】劇団やたか「おばあちゃんがかわった」

※その他に、スマイルアップ体操や、タッチパネル式認知症スクリーニングテスト、予防ドリルなどもあります。

■問い合わせ・申し込み
同実行委員会事務局(地域包括支援センター川上ステーション)

(TEL) 4184

「備中たかはし松山踊り」など、さまざまな行事でにぎわいました。こうした行事の盛り上げを支援するのは、準備や運営などに携わる地域の多くの皆さんの力。高粱の「熱さ」も、十分負けていないではないでしょうか。

さて、今月号で紹介したように、「忠臣蔵サミット」や「たかはしお城まつり」、11月には「学びピア岡山2007」の開催など、これからの季節も行事が盛りだくさん。市内各地で、ふるさとまつりなども行われます。皆さんの力で、秋も「熱い」高粱を盛り上げていきましょう。(YM)

お願い: 資料準備等の都合上、参加を希望される人はあらかじめご連絡ください。なお、参加の申し込みをされていない人でも参加は可能です。